

中耕と除草剤散布(移植・直播)について

J A 今金 農業経営課
北海道糖業(株)道南製糖所 原料課

1. 中耕について

中耕は、雑草を取り除く効果のほか、トラクタの踏圧・降雨等で固くなった土壌を膨軟にして地温を高め、通気性や透水性を良好にする効果があります。

- (1) 初期生育促進のため、中耕を苗活着後速やかに行う。
- (2) 施工深度は生育初期には広く浅く実施し、生育が進むにつれて狭く深くして下さい。
- (3) 根際部を埋めるような中耕培土は根腐病の原因になるので注意して下さい。

2. 除草剤について

(1) 移植栽培

【使用基準は10a当り・水量は100ℓ/10a】

回数	使用時期	使用薬剤
1回目	雑草 発生揃期 (2~3 cm)	<u>ベタハーブフロアブル 600ml + レナテン 100ml</u> または、 <u>タデが優先する圃場</u> については ベタナール 300ml + レナパック 150g + レナテン 100ml
2回目	1回目散布後 15~20日 目前後	ベタハーブフロアブル 600ml + レナテン 100ml または、 <u>タデが優先する圃場</u> については ベタハーブフロアブル 500ml + レナパック水和剤 100g + レナテン 100ml
イネ科 雑草 発生時	イネ科雑草 3~5葉期	★スズメノカタビラ発生圃場 セレクト乳剤 75ml ★スズメノカタビラ未発生圃場 ポルトフロアブル 300ml ナブ乳剤 250ml

※1 ベタナール乳剤の単剤使用時の水量は80ℓ/10a。

※2 ツクサなど難防除雑草の発生が予想される圃場は、北糖または関係機関に早めに相談する。(早期散布によるフィールドスターP乳剤などの使用方法)

除草剤による防除ストレスからの早期回復には、
スーパーハイケルプ 500倍(200ml)~600倍(170ml)/10a
の同時散布をお勧めします。

(2) 直播栽培

【使用基準は10a当り・水量は100ℓ/10a】

回数	使用時期	使用薬剤
1回目	第2本葉展開後	ベタハーブフロアブル400ml+レナテン 100ml
2回目	1回目散布後 7～10日後	ベタハーブフロアブル500ml+レナテン100ml または、タデが優占する圃場は 2回目ベタナール 300ml+レナパック 150g
3回目	2回目散布後 10～14日後	ベタハーブフロアブル 600ml+レナテン 100ml または、タデが優占する圃場は ベタハーブフロアブル500ml+レナパック水和剤 100g+レナテン100ml
イネ科 雑草 発生時	イネ科雑草 3～5葉期	★スズメノカタビラ発生圃場 セレクト乳剤75ml ★スズメノカタビラ未発生圃場 ポルトフロアブル 300ml ナブ乳剤 250ml

※ ツユクサなど難防除雑草の発生が予想される圃場や圃場内の生育差が大きい圃場は、
北糖または関係機関に相談する。(播種直後によるデュアルゴールド使用方法)

除草剤による防除ストレスからの早期回復には、
スーパーハイケルプ 500倍(200ml)～600倍(170ml)/10a
の同時散布をお勧めします。

- (3) 広葉除草剤とイネ科除草剤の同時散布は可能です。
- (4) 噴口は一般防除用(0.8mm程度)、散布圧は15kg/cm²程度が効果的ですが、天候や圃場条件等考慮し散布にあたって下さい(ドリフト注意)。
- (5) 除草剤による事故や薬害防止のため下記点に注意して下さい。
- ①高温時(25℃以上)の散布は避けて下さい(薬害防止)。
 - ②散布前には必ずスプレイヤーの洗浄を確認して下さい(スプレー含む)。
 - ③農薬の使用基準を確認して下さい。

※ご不明な点があれば独自での判断はせず、JA・普及センター・北糖等にご確認下さい。

以上